

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,427,343,176	4,430,248,389	△ 2,905,213	固定負債	0	0	0
有形固定資産	1,023,243,788	1,028,771,086	△ 5,527,298	長期借入金	0	0	0
土地	505,945,014	505,945,014	0	学校債	0	0	0
建物	476,783,606	495,579,821	△ 18,796,215	長期未払金	0	0	0
構築物	414,846	460,613	△ 45,767	退職給与引当金	0	0	0
教育研究用機器備品	25,636,633	11,664,882	13,971,751				
管理用機器備品	3,311,430	3,896,774	△ 585,344				
図書	0	0	0	流動負債	244,484,813	249,330,850	△ 4,846,037
車両	11,152,259	11,223,982	△ 71,723	短期借入金	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	1年以内償還予定学校債	0	0	0
特定資産	96,450,747	93,430,972	3,019,775	手形債務	0	0	0
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	未払金	27,561,848	21,492,195	6,069,653
第3号基本金引当特定資産	0	0	0	預り金	7,328,737	7,152,601	176,136
(退職)引当特定預金	96,450,747	93,430,972	3,019,775	前受金	209,594,228	219,755,471	△ 10,161,243
その他の固定資産	3,307,648,641	3,308,046,331	△ 397,690	仮受金	0	930,583	△ 930,583
敷金	21,123,400	21,123,400	0	未払消費税納税引当金	0	0	0
電話加入権	0	0	0	収益事業勘定	0	0	0
施設利用権	2,283,750	2,283,750	0				
ソフトウェア	846,900	1,214,100	△ 367,200				
有価証券	72,693,697	72,693,697	0				
収益事業元入金	3,210,400,764	3,210,400,764	0	負債の部合計	244,484,813	249,330,850	△ 4,846,037
保証金・預託金	300,130	330,620	△ 30,490				
流動資産	1,326,670,357	1,292,305,135	34,365,222	純 資 産 の 部			
現金預金	888,507,634	872,125,801	16,381,833	科 目	本年度末	前年度末	増 減
未収入金	1,565,314	905,909	659,405	基本金	1,401,019,079	1,400,881,982	137,097
貯蔵品	13,181,190	4,359,026	8,822,164	第1号基本金	1,401,019,079	1,400,881,982	137,097
前渡金	19,000	4,792,486	△ 4,773,486	第2号基本金			
立替金	80,000	106,373	△ 26,373	第3号基本金			
前払金	29,878,050	29,085,231	792,819	第4号基本金			
仮払金	△ 5,628	258,000	△ 263,628	繰越収支差額			
預け金	0	0	0	翌年度繰越収支差額	4,108,509,641	4,072,340,692	36,168,949
収益事業勘定	393,444,797	380,672,309	12,772,488	純資産の部合計	5,509,528,720	5,473,222,674	36,306,046
資産の部合計	5,754,013,533	5,722,553,524	31,460,009	負債及び純資産の部合計	5,754,013,533	5,722,553,524	31,460,009

(注記)

注記 重要な会計方針

重要な会計方針の変更等	なし
減価償却額の累計額の合計	398,911,896 円
徴収不能引当金の合計額	0 円
担保に供されている資産の種類及び額	担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。 土地 146,395,605円 建物 287,319,194円
翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	28,441,393 円
当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策	有している
その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	なし